

平成 26 年 12 月 24 日

一関市長 勝部 修 様

一関市議会議長 千葉 大作

市民と議員の懇談会に基づく提言について

当市議会では、今回で4回目となる市民と議員の懇談会を、11月2日及び9日の2日間、20会場で開催し、市民から多くの意見を頂戴しました。

これらの意見を今後の市政運営に反映していただきたく、議会運営委員会を中心に協議し、次の5つの項目にまとめ、提言いたします。

市当局におかれましては、市民の願いを真摯に受け止めていただき、実現に向け意を配し、市政運営を行われるよう念願するものであります。

記

- ① 人口減少・高齢化に対応した将来のまちづくりの方針を提示すること。
- ② 子育て環境について、ソフト、ハード両面からの施策を講じること。
- ③ 公民館の市民センター化にあたり、その目的や地域協働体の役割などについて、丁寧な説明を行い、広く市民の理解を得ること。
- ④ 雇用の場の確保のため、企業誘致及び地場産業振興に取り組むこと。
- ⑤ 安全、安心な市民生活のため、災害時の避難対策、道路・治水などのインフラ整備、放射能汚染被害対策を早期に進めること。

※なお、各会場で市民からいただいた個別の提言事項についても、資料として添付いたします。

「平成 26 年度市民と議員の懇談会」における市民からの提言事項

(61 項目)

【人口減少・高齢化・子育て支援】

- ① 人口減少対策の具体的施策を講じること。(舞川)
- ② 人口が減少しても、生きがいと希望が持てる施策を講じること。(藤沢)
- ③ 高齢者の知識や経験を活かした地域づくりを行うこと。(室根)
- ④ 子育て環境整備に注力のこと(油島、なのはな、山目、舞川)
 - ・子育て環境、教育環境整備
 - ・公園整備、室内遊戯場等
 - ・医療費、教育費助成の整備、出産費用の支援額の増額
- ⑤ 少子化対策に一層の施策を講じること。(大東農環)
- ⑥ 結婚対策が急務であり、主要な施策として取り組むこと。(藤沢、奥玉)
- ⑦ 保育園等の保育士を臨時職員から正職員とすること。(黄海、萩荘)
- ⑧ 女性が働きやすい職場環境の整備を図ること。(黄海)
- ⑨ 花泉地域の小学校統合時に小中一貫校の検討を行うこと。(老松)

【市民センター化・協働のまちづくり】

- ① 管理運営を担う人材育成、確保への支援を行うこと。(山目)
- ② 若者や女性の参画できる環境を整備すること。(油島)
- ③ 具体的な地域協働体の役割などについて、十分な説明を行うこと。(大東農環)
- ④ センター化について、丁寧な説明を行うこと。(大東農環)
- ⑤ 社会教育の面の対応について、十分な説明を行うこと。(川崎)
- ⑥ 協働のまちづくりを推進するための条例(自治基本条例)を整備すること。(藤沢)
- ⑦ センターは、社会教育面に注力を。併せて、活動の成否は事務局体制にあることから、事務局体制の構築に支援を図ること。(山目)
- ⑧ 市職員の持つ情報量がセンター運営の円滑化につながる。市職員が地域社会の一員として積極的な参画を図ること。(奥玉)
- ⑨ 地域協働体に丸投げをしないで、一定期間の支援を行うこと。(山目、萩荘)

【雇用・産業振興】

- ① 現行の農業政策では地域が疲弊している。安定した所得対策を構築のこと。(大東農環)
- ② 米価下落対策を講じること。(舞川)
- ③ 農業の目標を食糧生産からエネルギー生産にシフトする発想の転換で産業振興や雇用確保に展開を図ること。(大東農環)

- ④ 自主財源の向上を図るためにも、地場産業育成が重要である。地場産業の育成を図ること。(大東農、環渋民、弥栄)
- ⑤ 市有林など山林の適正管理を行うこと。(中里)
- ⑥ 雇用の場の確保のため企業誘致と併せ、不安定雇用の改善を図ること。(中里、舞川、山目)
- ⑦ 6次産業化を確実なものにするため、一定の行政支援を行うこと。(中里)
- ⑧ 雇用の場の確保のためにも、I L Cの早期実現を。(舞川)
- ⑨ 農業と観光の連携の施策を講じること。(なののはな)
- ⑩ 農産物の販売する仕組みを確立すること。(なののはな)
- ⑪ 廃校の活用を知恵を絞ること。例えば、地方でも可能なIT関連企業誘致。(室根)
- ⑫ 花と泉の公園のあり方について、見直しを行う時期になっている。本来の目的である農業研究機関、技術研修として復活を図ること。(油島、老松)

【安心・安全】

(市民生活環境)

- ① 災害発生時の『避難準備』、『避難勧告』及び『避難指示』などの意味や対応方法について、十分な説明を行うこと。(真柴)
- ② 防災区分が多種多様であり、避難などの実感が湧かないため、避難訓練の参加者が少ない。災害対応は避難が基本であり、避難の重要性について周知を図ること。(中里)
- ③ 災害時の要援護者への具体的な対応について周知を図ること。(真柴)
- ④ 防災行政無線の難聴対策を講じること。(千厩)
- ⑤ 放射能汚染牧草のペレット化を期限までに終えること。(巖美)
- ⑥ 放射能汚染に伴う側溝の土砂撤去対策を講じること。(川崎)
- ⑦ 通勤、通学前に除雪を行うこと。(巖美)
- ⑧ ごみ袋統一には、市民の意見を聴取のこと。(田河津)
- ⑨ 防犯灯などの整備及び既存施設のLED化を早期に行うこと。(川崎、萩荘)
- ⑩ 次期最終処分場の整備を実現すること。(舞川)
- ⑪ 高齢化の進展や交通量増大に伴う交通安全対策を講じること。(舞川)
- ⑫ 栗原市の放射能汚染最終処分場の計画に対して、近接自治体としての意見を表明する必要があること。(室根)
- ⑬ 清掃センター整備にかかる『覚書』問題について誠実な対応を行うこと。(老松)
- ⑭ 空き家バンクをさらに利用しやすいよう整備すること。(大東農環)
- ⑮ 若者が暮らしやすさを実感しながら定住できるような支援制度を構築すること。(大東農環)

- ⑩ 円安に伴う石油高騰対策として、例えば『福祉灯油』の支援を講じること。
(弥栄)

(社会資本整備)

- ① 花泉バイパスに関係する県道花泉・藤沢線へ歩道を整備すること。(老松)
- ② 興田中心部の県道を整備すること。(大東農環)
- ③ 一関南小付近の国道 342 号と JR 東北本線の交差部分の改良整備をすること。
(真柴)
- ④ 千厩地域の公共下水道整備に伴う負担金などについて、十分な説明を行うこと。
(千厩)
- ⑤ 弥栄ゲートボール場の駐車場などを整備すること。(弥栄)
- ⑥ 金山棚田の進入路の市道及び駐車場を整備すること。(舞川)
- ⑦ 中東北の拠点を目指すためには、上水道整備に注力すること。(室根)
- ⑧ 黄海川及び北上川合流点の水門整備と黄海川堤防嵩上げ及び河積確保の整備を行うこと。(黄海)
- ⑨ 道路や水路の老朽化が目立つので、対応を講じること。(山目)
- ⑩ 道路整備に伴う交通量や危険度に即した信号機や歩道などの整備を図ること。
(油島、老松、山目)

【その他】

- ① 各種会議は、事後報告の知らせが多い。事前に会議等の周知を行うこと。(油島)
- ② 公共施設が指定管理となっているが、草刈りなどの環境整備が不十分であり、施設周辺を含めた環境整備を行うこと。(油島)
- ③ 市の債務が膨大である。自主財源に見合う事業に見直しを図ること。(老松)
- ④ 市職員の姿、顔が分からない。現場に密着した業務を行うこと。(大東農環、室根)
- ⑤ 耕作放棄地に対して適正な課税評価を行うこと。(室根)